

「石川県産業成長戦略」の 主な取り組み状況（概要）

石川県産業成長戦略（H26. 5月策定）

石川県の強み

製造業の集積

ニッチトップ企業の集積

高等教育機関の集積

国の超大型研究開発拠点

豊富な地域資源

比較的安価な電力と低い大規模地震リスク

3大都市やアジアへとつながる交通インフラ

今後10年を見据えた環境変化

○総人口・生産年齢人口の減少による国内市場の停滞

○新興国等の海外市場の成長

○成長市場の拡大・新技術の出現

○グローバル化の進展

○高齢化と新陳代謝の進展

○県内の生産年齢人口の減少

7つの柱と3つの好循環

①新製品開発による新規需要の創出

②国際展開の拡大

③次世代産業の創造

④地域の強みの活用

⑤戦略的企業誘致の推進

⑥事業基盤の強化

⑦産業人材の総合的育成・確保

人材の集積を高め
技術を磨き
市場を獲得し
更なる集積へ

技術を後押し
更なる挑戦へ

成長シーズを
地方と国で連携し
次々と大きく

①新製品開発による新規需要の創出

- 全国最大規模となる総額700億円の2つのファンドを活用し、地域資源を活用した新製品開発や、産学官金の連携による次世代産業の研究開発を促進

新製品開発の促進・新分野展開の促進

いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド（旧：いしかわ産業化資源活用推進ファンド）

農林水産物や伝統工芸等、地域資源を活かした商品開発等を支援

H30 国資金拠出期限延長（H30⇒R10） ファンド規模を拡充（300億円⇒400億円）

中小企業基盤
整備機構
100億円

金融機関
180億円

石川県
120億円

出
資

いしかわ中小企業
チャレンジ支援ファンド

基金総額400億円
【全国最大規模】

〔運用益 約2.8億円/年〕

助
成

<支援メニュー>

- 地域資源の活用による新製品・新サービス開発支援
- 産業間・異業種等連携支援
- ものづくり企業特別支援(H.30～)
- 海外企業等との連携支援(R2～)

(株)レグレット（七尾市）
能登の卵・塩・米を使用した
土産菓子「YUKIZURI（雪吊り）」



高い商品化率(約9割)

いしかわ次世代産業創造ファンド

本県の次世代産業として有望な「炭素繊維」「ライフサイエンス」「航空機」「エネルギー・脱炭素化」を集中支援分野として研究開発を支援 H26ファンド規模を拡充（130億円⇒300億円）

金融機関
200億円

石川県
100億円

出
資

いしかわ次世代産業
創造ファンド

基金総額300億円
【全国最大規模】

〔運用益 約2.0億円/年〕

助
成

<支援メニュー>

- 集中支援分野の研究開発（炭素繊維、ライフサイエンス、航空機、エネルギー脱炭素化）
- 新技術・新製品の研究開発
- デジタル技術開発支援(H29～)

小松マテール(株)（小松市）
炭素繊維を用いた耐震補強材
(R1.11 JIS規格に認定)



採択案件の中から
国の大型プロジェクトに発展

文化財補修
などに活用



善光寺(長野県)

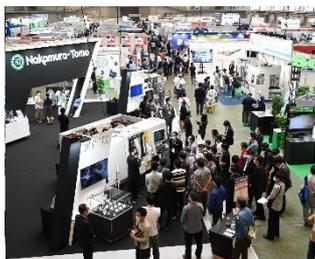
①新製品開発による新規需要の創出

- 県内企業の新規受注先確保・受注拡大のためのマッチングの場を提供
- スタートアップビジネスプランコンテストなどにより、県内外の起業家の県内起業をサポート

販路開拓の促進・消費者ニーズの開拓

県外企業からの受注あっせんや、県内企業が有する高い技術を大手メーカーに提案する商談会、大規模見本市の開催等を支援

オンラインも活用



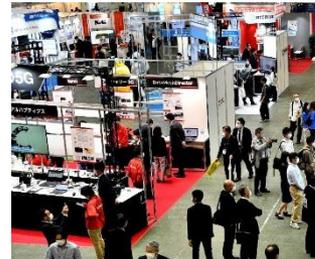
MEX金沢
受注開拓懇談会 など



アパレル産業連絡懇談会
化繊メーカー連絡懇談会



食品王国いしかわ
百万石マルシェ



e-messe Kanazawa



いしかわ伝統工芸フェア

創業の促進

石川県で起業しようとする起業家を県内外から募り、優秀者を支援（H19～）

⇒ニッチトップ企業など県内経済を支える企業へ成長

<スタートアップビジネスプランコンテスト>

優秀者63者のうち8割が事業化
(うち10社が売上1億円超)



プレゼンテーション



審査委員による評価



表彰式

② 国際展開の拡大

- シンガポール事務所を開設し、企業の国際展開支援体制を充実
- 商談会によるバイヤー開拓や、海外アンテナショップによる県産品の魅力発信を実施

企業の国際展開支援体制の充実

H26にシンガポール事務所を新たに開設

国際ビジネス
サポートデスク

情報提供
販路開拓支援等

産業政策課内
(H16～)



上海
(H9～)



シンガポール
(H26.10～)

バイヤー開拓 (B to B)

販路開拓で最も重要なバイヤーの開拓
今後、市場拡大が見込まれる地域での商談会
(東南アジア・香港・欧州・米国)



コロナ禍
(渡航制限)



オンライン
も活用

県産品の魅力発信 (B to C)

バイヤーからの提案を踏まえ、現地の富裕層が多く訪れる百貨店に「海外アンテナショップ」などを開設

・シンガポール・香港の
大手高級百貨店での
県産品の販売
(8月～1月)



シンガポール
「高島屋」



香港
「そごう」

・シンガポール・香港の
オンラインでの
県産品の販売
(通年)



LAZADA



HKTVMall (伝産品)
Dashi Goma (食品)

開拓したバイヤー数の推移

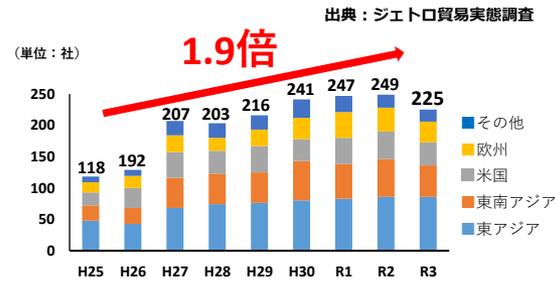
国・地域	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
東南アジア	0	42	49	205	263	333	375	375	375
東アジア	44	73	123	187	270	423	481	481	498
米国	107	110	112	115	136	162	205	205	205
欧州	0	6	71	73	76	102	320	321	321
上記計	151	231	355	580	745	1,020	1,381	1,382	1,399

→ 9.3倍

県内企業による輸出額の推移(食品・伝産品)



県内における輸出企業数の推移(食品・伝産品)



※複数地域に輸出している企業があるため、標記は延べ数

③次世代産業の創造

- いしかわ次世代産業創造支援ファンド等により将来有望な4分野を重点的に支援
高度な技術開発により、それぞれの分野で着実に事業化が進展

炭素繊維分野

炭素繊維に関する基礎技術確立のための
研究開発支援

研究開発が本格化

- 国の大型研究事業に採択 (H25)



金沢工業大学・革新複合材料研究開発センター(H26.6開所)

川中・川下連携

- 東海・北陸連携コンポジットハイウェイ構想
- CFKバレー（ドイツ）との連携



主な成果

建築構造物の補強材
(R1.11月 J I S規格認定)

腕時計用
部材

スポーツ用品用
部材



ライフサイエンス分野

生活習慣病の予防・診断・治療の研究開発支援
【石川・富山・福井連携】(H25~H29)

主な成果

血液から迅速・安価にがんを
診断できる検査キットを開発

検査キット



航空機分野

国際規格「NadCap」の認定取得支援

主な成果

大手航空機部品メーカーから
航空機用の足回り部品を受注

油圧アクチュエータ



エネルギー・脱炭素化分野

再生可能エネルギー等の利活用

主な成果

小型で発電効率が高い
太陽光発電システムを開発

追尾集光型の太陽光
発電システム



③次世代産業の創造

- 石川の強みを活かした提案による、政府機関の石川への移転
県内企業との共同研究が国プロジェクトに採択されるなど、次世代産業の創造が加速

石川の強み：ものづくり企業・高等教育機関の集積、北陸SterBEDの立地等

政府関係機関の石川県への移転

(独) 産業技術総合研究所 (産総研)

県内企業と産総研の連携拠点

「石川サイト」開設 (H28.4 工業試験場内)



炭素繊維分野はじめ、本県が優れた技術を持つ分野との共同研究開発の促進

主な成果

産総研と県内企業の共同研究 29件
(うち国プロジェクト12件) ※H28~R3実績

(独) 産業技術総合研究所

我が国最大級の公的研究機関

幅広い産業分野で技術開発を総合的に展開

(独) 情報通信研究機構 (NICT)

北陸StarBED技術センターに NICTの「北陸ICT連携拠点」設置

情報通信技術の利活用に向けた連携と
協力に関する包括連携協定締結(H28.6.3)



北陸StarBED技術センター
(能美市)

IoTを活用した製品・サービスの開発
(研究員の知見や研究施設を活用)

主な成果

NICTの専門家を県内企業に派遣 21件
※H28~R3実績

(独) 情報通信研究機構

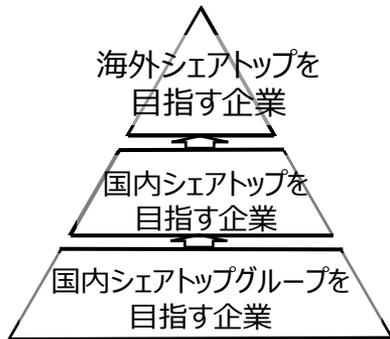
情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関

④地域の強みの活用

●ニッチトップ企業の増加と育成の推進、県内企業の優れた製品を石川ブランド製品に認定、石川の個性である伝統産業・食文化の魅力を国内外に発信

ニッチトップ企業の増加・育成の推進

企業の段階に応じた販路拡大などの支援や、ニッチトップ候補となる企業の掘り起こし



グローバルニッチトップ
9社(全国5位)
(経産省認定H26・R2)

県内ニッチトップ企業
73社(H26)⇒93社(R3)

食文化の戦略的発信

歴史と伝統に裏打ちされた石川の食文化の魅力を国内外に発信



海外での食文化提案会

現地のシェフ・バイヤーから高い評価



地酒蔵 (J R金沢駅構内)

新幹線開業に合わせ
金沢駅構内に設置
地酒・酒器をPR

地域資源の活用

石川ブランド製品認定制度

新規性・独自性等において優れた製品を認定し、全国展開や海外販路開拓を後押し

(これまで61製品を認定(H24~R4))



カジレーネ(株)(かほく市)
「トゥー&フロー」
石川県産ナイロン生地を使った
軽量・コンパクトなトラベルグッズ



伝統産業の魅力発信

国際北陸工芸サミット in 石川 (R3)



シンポジウム、
展覧会や展示販売会など
県内外に向けて魅力発信

建築の内装などに活用



J R金沢駅 コンコース



クルーズターミナル待合室

④地域の強みの活用

- 首都圏アンテナショップをオープン（H26）、情報発信拠点として県産品の魅力等を発信
- 金沢港の貨物・クルーズ誘致、賑わい創出、七尾港の製材等の取扱拡大に向けた取組支援

交通インフラを活用した円滑な外需獲得の促進

首都圏アンテナショップによる情報発信

北陸新幹線金沢開業を見据え、首都圏の情報発信拠点として、東京・銀座の外堀通り沿いに、H26にオープン（平成26年10月オープン、令和2年3月 リニューアルオープン<北陸新幹線開業5周年の節目に機能強化>）



1階
菓子・茶・工芸雑貨等



2階
観光案内・展示ギャラリー等



地下1階
加工食品・地酒・調味料等

石川県アンテナショップ
いしかわ百貨店物語 江戸本店

・石川の食・伝統工芸・
観光資源の魅力発信

・首都圏流通や小売の
専門家による商品改良・
販路開拓支援

重要港湾の利活用促進

金沢港（貨物・クルーズ・賑わいの拠点）

（貨物） H19 コマツ立地以降 急増

コンテナ H18: 3万本→R1: 7万1千本（2.4倍）

航路数 H18: 4本 →R1: 10本（2.5倍）

（クルーズ） H27 新幹線開業以降 急増

寄港数 H26: 16本→R1: 50本

（レールアンドクルーズ定着）

機能強化整備（R2完了）

クルーズターミナル、分区制度の導入(R3.3)など



コマツ金沢工場（大浜ふ頭）



金沢港クルーズターミナル（無量寺ふ頭）

七尾港（能登の物流拠点）



天然の良港

矢田新地区

大田地区

旅客船岸壁
完成(H27)

国際物流拠点化に
向けて整備中

⑤ 戦略的企業誘致の推進

- 本県の立地の優位性や充実した支援制度を積極的にPRした誘致活動を展開
近年では、本社機能移転や都市部にある企業のサテライトオフィスを誘致

企業誘致・設備投資の促進

【企業誘致の意義】

- ・産業構造の多重化・多軸化
- ・雇用創出効果、地場企業との相乗効果に大きく寄与

◆恵まれた自然環境

低い自然災害（地震・台風等）リスク
世界農業遺産「能登の里山里海」のイメージ
低廉な電気料金

◆充実した「陸・海・空」の交流基盤

◆高い技術力・優秀な人材

◆全国トップクラスの暮らしやすさ

◆全国トップレベル 最大50億円の手厚いサポート

本社機能の誘致推進（H27～）
サテライトオフィス誘致（R2～）



繊維会館内
（株）白山（金沢市）
【H27 本社機能移転】



シフトプラス（株）（輪島市）
【R2 サテライトオフィス誘致】

企業誘致（H26～R4（9月末現在））	84件	新規雇用創出 約3,200人
うち本社機能移転（H27～R4（〃））	12件	
サテライトオフィス（R2～R4（〃））	3件	

⑥事業基盤の強化

- 地場産業の経営安定化のため、専門家派遣などの伴走型支援
- 円滑な事業承継を支援するため、石川県事業承継・引継ぎ支援センターを開設（H27）
- 事業者の資金需要に応じた、低利な制度融資（コロナ禍にはゼロゼロ融資の創設など）

経営基盤の強化・生産性の向上

事業者に寄り添った「伴走支援」の充実に向けた取り組みを実施

- ・ 支援機関職員の資質向上 → 商工会の中小企業診断士資格取得率**全国トップ**
- ・ 専門家派遣制度の**大幅な拡充**、商工会・商工会議所の体制強化（R4.6月～）

全国初 中小企業庁等との「伴走支援」に関する連携協定を締結

全国のモデルとなるような効果的な取り組みを実施

（国・県・支援機関による連絡会議の開催、事業者向けセミナーの開催
特別アドバイザーの派遣、支援機関職員の更なる資質の向上）



石川県中小企業者等支援に関する連携協定締結式（R4.8.30）

円滑な事業承継の推進

石川県
事業承継・引継ぎ支援センター（H27開設）



円滑な資金調達等のセーフティネットの充実

【県制度融資】

- ・ 設備投資（前向き）
- ・ 運転資金（セーフティネット）

コロナ禍(拡充)

ゼロゼロ融資の創設（R2～）
（無利子・保証料免除）

R5以降返済
が本格化

借換融資制度の創設（R4.6月補正）
（最大15年・据置5年）

⑥ 事業基盤の強化

- H30から先駆的に、企業の具体のニーズや取り組みの段階に応じたきめ細かく支援を開始
- R2には、「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」を、東京以外で初めて開講

生産性向上（デジタル化支援）

H26戦略策定時には明確に位置付けられていない

H30より先駆的に企業のAI・IoT導入を支援

あらゆる事業者へデジタル化を拡大



⑦産業人材の総合的育成・確保

- H28に、仕事と暮らしのワンストップ窓口「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」(ILAC)を開設し、県内企業の人材確保を支援

ILAC | いしかわ就職・定住総合サポートセンター

人材・県内企業のマッチングを県内・首都圏で一体的に実施するのは全国初の取り組み

移住希望者や学生、専門人材まであらゆる人材の仕事と暮らしの相談にワンストップで対応
(平成28年4月 金沢と東京に開設 平成30年度には大阪にも窓口を設置)

【県内】

ILAC (金沢)



他にサテライト
(能登・加賀)

移住・転職の相談がしたい

移住・転職をサポート

Uターンサポート石川



就職活動の相談がしたい

学生の就活をサポート

若者のしごと探しをまるごとサポート
ショフカ7エ石川



女性の再就職をサポート

女性ジョブサポート
石川



若者の職業的自立をサポート

若者サポート
ステーション石川



求人相談や紹介を受けたい

福祉のお仕事紹介

福サボ石川



ご希望のお仕事紹介

しごとプラザ金沢



若者や学生のお仕事紹介

ヤングハローワーク金沢
金沢新卒応援ハローワーク



子育て世代のお仕事紹介

マザーズハローワーク
金沢



【県外】

ILAC東京



ILAC大阪



ILACを通じた移住者数 (年間)

R3 : 497人 (H27 (開設前) : 30人 約1.7倍)

ILACを通じた就職マッチング件数 (累計)

H28~R3 : 1,528人

⑦産業人材の総合的育成・確保

- 企業が求める人材の確保に向け、社会人UIターンや学生との出会いの場を提供
潜在的な人材の掘り起こしのため、企業向けセミナーや職業紹介などを実施

社会人UIターン

仕事（就職マッチング）

- ・求人ニーズ掘り起こし
- ・合同企業説明会の開催
- ・プロフェッショナル人材と
県内企業とのマッチング



合同企業説明会

暮らし（企画振興部と連携）

- ・子育て世帯向け移住セミナー
- ・いしかわ移住パスポート（Iパス）
協賛事業者による割引・特典付与



潜在的な人材の掘り起こし

女性・高齢者・留学生の（再）就職支援

- ・企業向けセミナー
- ・就労支援講座
- ・マッチング交流会、インターンシップ



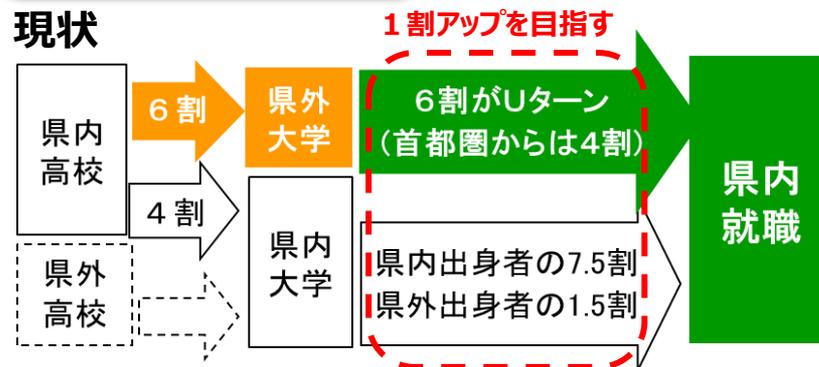
マッチング交流会

人材育成

- ・県立産業技術専門校による職業能力開発訓練
- ・伝統産業従事者の育成
- ・デジタル人材育成（再掲）など

学生の県内就職

現状



主な取り組み

- ・県外大学との就職支援協定（39大学）
- ・県内企業でのインターンシップの促進
- ・若手社員と学生との交流会の開催
- ・進学する高校生に対する就職セミナー
- ・合同企業説明会、面接会の開催
- ・奨学金返還助成制度 ※理系大学院生
- ・「ふるさと石川就職学生カード（Isica）」
「いしかわ就活スマートナビ」による就活促進 **全国初の取り組み**



インターンシップフェス



Isica

ポイント
付与



スマートナビ

ILACの
就職イベントへの
参加

(参考) 石川県長期構想における産業関連指標の達成状況

指標名	H26 基準値	R7目標値 (A)	R3実績値 (B)	達成率 (B/A×100)
製造品出荷額	30,206(H29)	32,400億円 (R6)	30,059億円(R1)	92.8%
金沢港の外貨コンテナ貨物量	60,304TEU	70,000TEU	64,320TEU	91.9%
金沢港のクルーズ船寄港本数 (年間)	16本	40本	4本	10.0%
七尾港の木材取扱量	144,620トン	増加	128,416トン	—
ニッチトップ企業数	77社	100社	93社	93.0%
誘致企業による新規雇用の創出 (累計)	1,855人(H17-H26)	2,000人(H28-R7)	1,890人(H28-R3)	94.5%
伝統的工芸品生産額	263億円	増加	156億円	—
県内出身県外大学生のUターン就職率	約6割	7割以上	約5.5割	78.6%
県内出身県内大学生の県内就職率	約7.5割	8.5割以上	約7.5割	88.2%
県外出身県内大学生の県内就職率	約1.5割	2.5割以上	約1.5割	60.0%
高校卒業者のうち就職者の県内就職率	93.4% (全国4位)	全国上位	90.3% (全国7位)	—
女性就業率 (65歳以上を除く)	70.5%	75.7% (R6)	76.3%	100.8%
高齢者就業率 (65歳以上)	22.8%	28.5% (R6)	28.0%	98.2%

「石川県産業成長戦略」の 主な取り組み状況（一覧）

石川県産業成長戦略の主な取り組み状況一覧

施策の方向性(柱)	具体的な取り組み	主な事業とその成果
<p>①新製品開発による新規需要の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発の促進 ・新分野展開の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●全国最大規模となる総額700億円の2つのファンドを活用し、地域資源を活用した新製品開発や、産学官金の連携による研究開発を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド(400億円) <ul style="list-style-type: none"> ⇒H30 国資金拠出期限延長・ファンド規模を拡充(300億円⇒400億円) 支援実績(H20～R4累計) 支援数1,265件 商品化率 86.5%(749件中648件) ※事業完了したH20～H30採択分 ・いしかわ次世代産業創造ファンド(300億円) <ul style="list-style-type: none"> ⇒H26 ファンド規模を拡充(130億円⇒300億円) 支援実績(H22～R4累計) 支援数354件、支援額 約22億円 事業化累計売上 約80億円・国等の事業(旧サポイン・NEDO等)に採択 27件
	<ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓の促進 ・消費者ニーズの開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内企業の新規受注先確保・受注拡大のためのマッチングの場を提供(コロナ禍ではオンライン併用)(見本市等) <ul style="list-style-type: none"> ・MEX金沢 ※R2・R3はコロナで中止 <ul style="list-style-type: none"> ⇒入場者数(人) H25:53,218 → R4:32,243 (R1(コロナ前):58,795) ・ビジネス創造フェアいしかわ ※R2・R3はコロナで中止 <ul style="list-style-type: none"> ⇒入場者数(人) H25:32,273 → R4:7,478 (R1(コロナ前):30,559) ・e-messe Kanazawa ※R1まではMEX金沢と併催 R2～単独開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒入場者数(人) H25:45,252 → R4:3,367 (R2:2,207 R3:2,536) ・いしかわ伝統工芸フェア <ul style="list-style-type: none"> ⇒来場者数(人) H25:35,800 → R3:21,000 (R1(コロナ前):42,000) (商談会等) <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案型展示商談会 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商談件数:788件 成立件数:40件 成立金額:470,154千円 (H26～R3累計) ・受注開拓懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ⇒受注開拓件数:4,603件 成立金額:1,558,249千円 (H26～R3累計) ・アパレル産業連絡懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ⇒製品開発点数(H26～R3累計) 1,699件 ・食品王国いしかわ百万石マルシェ(R2～) ※食品王国いしかわ(H23～H30) <ul style="list-style-type: none"> ⇒商談件数(件) H25: → H3:428
	<ul style="list-style-type: none"> ・創業の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●県内外の起業家の県内起業をサポート <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップビジネスプランコンテストの開催(H19～) <ul style="list-style-type: none"> ⇒応募者1,631件 優秀者63名(H19～R3累計) 優秀者のうち8割が事業化(うち10社が売上1億円超に成長)

石川県産業成長戦略の主な取り組み状況一覧

施策の方向性(柱)	具体的な取り組み	主な事業とその成果
<p>②国際展開の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国際展開準備の充実 国際展開挑戦の促進 海外需要の獲得の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の国際展開支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> 平成26年にシンガポール事務所を新たに開設し、海外ネットワークを拡大 ⇒海外事務所の活動（便宜供与、情報提供、訪問、来所）件数（H26～R3累計）12,832件 ●商談会によるバイヤー開拓（B to C） <ul style="list-style-type: none"> ⇒開拓したバイヤー数（H26～R3累計） H25 151社 ⇒ R3 1,399社 <ul style="list-style-type: none"> 東南アジア H25: 0社 ⇒ R3:375社(H25比 皆増) 東アジア H25: 44社 ⇒ R3:498社(H25比 11.3倍) 米国 H25:107社 ⇒ R3:205社(H25比 1.9倍) 欧州 H25: 0社 ⇒ R3:321社(H25比 皆増) ●県産品の魅力発信（B to C） <ul style="list-style-type: none"> ・現地の富裕層が多く訪れる百貨店に「海外アンテナショップ」を開設（R1～） ⇒常設販売化した商品数（R1～R3累計）67商品 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>食品・伝統工芸の輸出額（R3） 3,084億円（H25比 4.7倍） 輸出企業数の推移（R3） 225社（H25比 1.9倍）</p> </div>
<p>③次世代産業の創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> 企業の裾野拡大や研究開発の促進 事業化の加速 新技術への迅速な対応の促進 国事業等を活用した革新的な研究開発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●将来有望な4分野を重点的に支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒それぞれの分野で着実に事業化が進展 <ul style="list-style-type: none"> ・炭素繊維（建築構造物補強材、腕時計やスポーツ用品部材に採用） ・ライフサイエンス（血液から迅速・安価にがんを診断できる検査キットを開発） ・航空機（大手航空機メーカーから航空機用の足回り部品を受注） ・エネルギー・脱炭素（小型で発電効率の高い太陽光発電システムを開発） ●石川の強みを活かした提案による政府関係機関の石川への移転 <ul style="list-style-type: none"> ⇒(独)産業技術総合研究所、(独)情報通信研究機構 産総研と県内企業との共同研究 29件 うち国プロジェクトに採択 12件 など
<p>④地域の強みの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ニッチトップ企業の増加・育成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●ニッチトップ企業育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の段階に応じた販路拡大などの支援や、ニッチトップ候補の掘り起こし ⇒支援実績 <ul style="list-style-type: none"> 国内ニッチトップ企業育成支援事業(H17～R4累計)44社 うち15社が国内シェアトップ達成 ニッチトップ企業海外展開支援事業(H26～R4累計)11社 うち1社がグローバルニッチトップ認定 ネクストニッチトップ企業育成事業（R1～R4累計） 13社 <p>⇒県内ニッチトップ企業 H25 68社 ⇒ R3:93社（H25比 1.37倍） うちグローバルニッチトップ 9社（全国5位） ※経産省認定（H26・R2）</p>

石川県産業成長戦略の主な取り組み状況一覧

施策の方向性(柱)	具体的な取り組み	主な事業とその成果
<p style="background-color: #d9ead3; padding: 5px;">④地域の強みの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●石川ブランド製品認定制度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規性・独自性等において優れた製品を認定し、国内外の販路開拓を後押し ⇒認定実績 (H24～R4累計) プレミアム 61製品 グッド 301製品 ●伝統産業の魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際北陸工芸サミットin石川 (R3) の開催など、県内外に向けた魅力発信 ・ 金沢駅・金沢港クルーズターミナルなど建築の内装への活用 ⇒伝統工芸品生産額 H25:268億円 → R3:156億円 (R1:227億円(コロナ前))
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食文化の戦略的発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●石川の食文化の魅力を国内外に発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外での食文化提案会を開催し、現地のシェフバイヤーから高い評価 ⇒H26:シンガポール、H27:イタリア、H30:オーストラリア、R1:フランス ・ 新幹線金沢開業に合わせ金沢駅構内に地酒蔵を設置、地酒・酒器をPR ⇒来店者数(千人)H26:73 H27:155 H28:140 H29:147 H30:138 R1:130 R2:63 R3:69 ⇒売上高(百万円)H26:155 H27:350 H28:333 H29:311 H30:290 R1:274 R2:139 R3:159
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通インフラを活用した円滑な外需獲得の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●首都圏アンテナショップによる情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線金沢開業を見据え、平成26年10月にオープンし、首都圏の情報発信拠点として、食・伝統工芸・観光資源のPR、首都圏での販路開拓を支援 ⇒来店者数(千人) H26:165 H27:331 H28:257 H29:246 H30:224 R1:141 R2:147 R3:198 ※H26.10オープン、R1.10～R2.3リニューアルのため休業、 R2.3リニューアルオープン、R2.4.8～5.31コロナ禍(休業要請) ●重要港湾の利活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢港 令和2年に機能強化整備が完了 貨物・クルーズ・賑わいの拠点へ <貨物> コンテナ(TEU) H25:52,998 ⇒ R3:64,320 (R1(コロナ前):71,716) <クルーズ> 寄港数(本) H25:18 ⇒ R3:4 (R1(コロナ前):50) <賑わい> 来場者数(人) R2.6～R4.9(累計):1,414,002 (金沢港クルーズターミナル) ・ 七尾港 能登の物流の拠点として、製材等の取扱拡大に向けた取組を支援 木材取扱量(トン)H25:127,604 ⇒ R3:128,416
<p style="background-color: #d9ead3; padding: 5px;">⑤戦略的企業誘致の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略的企業誘致の促進 ・ 設備投資の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●本県の立地の優位性や充実した支援制度を積極的にPRした誘致活動 近年では、本社機能移転や都市部にある企業のサテライトオフィスを誘致 ⇒企業誘致 (H26～R4(9月末現在)) 84件 新規雇用創出 約3,200人 うち本社機能移転 (H27～R4(〃)) 12件 サテライトオフィス (R2～R4(〃)) 3件

石川県産業成長戦略の主な取り組み状況一覧

施策の方向性(柱)	具体的な取り組み	主な事業とその成果
<p>⑥事業基盤の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営基盤の強化や品質を確保した上での生産性向上によるコスト縮減の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●地場産業の経営安定化のため、専門家派遣などの伴走型支援 <ul style="list-style-type: none"> 専門家制度の充実（生産性向上・経営改善） ⇒派遣実績 H25:2,699回 ⇒ R3:4,197回（H25比 1.6倍）※コロナ禍で派遣枠拡大 支援機関職員の資質向上支援 ⇒商工会の中小企業診断士資格取得率 35.4%（全国トップ）＜参考：全国5.1%＞ R4 中小企業庁等との「伴走支援」に関する連携協定を締結 ●生産性向上（デジタル化支援） 《現指針に明確に位置づけられていない》 <ul style="list-style-type: none"> H30から先駆的に、企業の具体のニーズや取り組みの段階に応じたきめ細かな支援 R2から「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」を東京以外で初めて開講 ⇒デジタル化設備導入支援件数（H29～R3累計） 316件 ⇒デジタル技術支援工房相談件数（H30～R3累計） 2,393件 ⇒デジタル化人材育成事業参加者数（H30～R3累計） 852人
	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な事業承継の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●石川県事業承継・引継ぎ支援センターを開設（H27） 相談体制を強化 ⇒R3 相談件数349件（前年比1.9倍）、成約件数51件（前年比1.5倍）
	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な資金調達等のセーフティネットの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業者の資金需要に応じた、低利な制度融資 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍では、無利子・保証料免除のゼロゼロ融資や、R5以降の返済本格化を見据えた借換融資制度を創設するなど、セーフティネットを充実 ⇒新型コロナウイルス感染症緊急特別融資(R2.5.1～R3.3.31) 実行件数14,375件 実行金額2,692億円（例年の融資実績 年約700件 50億円程度）
<p>⑦産業人材の総合的育成・確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 成長をけん引する人材 成長基盤を強化する人材 明日の産業を担う人材の育成・確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事と暮らしのワンストップ窓口「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」(ILAC)を開設（H28）し、県内企業の人材確保を支援 <ul style="list-style-type: none"> あらゆる人材と県内企業を県内と首都圏で一体的に実施する全国初の取り組み ●社会人Uターンや学生との出会いの場の提供、潜在的な人材の掘り起こし ⇒ILACを通じた移住者数 R3:497人（H27(開設前)比 17倍） ILACを通じた就職マッチング（H28～R3累計） 1,528人 県外大学との就職支援協定 39大学 県内出身県外大学生のUターン就職率 約6割 ⇒ 約5.5割 県内出身県内大学生の県内就職率 約7.5割 ⇒ 維持 県外出身県内大学生の県内就職率 約1.5割 ⇒ 維持 高校卒業者のうち就職者の県内就職率 90.3%（全国7位） 女性就業率（65歳以上を除く） 76.3%（H26:70.5%） 高齢者就業率（65歳以上） 28.0%（H26:22.8%） ●産業技術専門校等での職業能力開発訓練、デジタル人材の育成（再掲） ⇒委託訓練(R3受講者：1,117人（就職率74.7%）うちデジタル分野：197人） 産技校での訓練受講者就職率(R3:81.9%)、在職者訓練受講者数(R3:973人)